

【木更津市男女共同参画推進計画（第4次）事業評価表】令和2年度 総合評価（案）

資料3

連番	課名	基本目標	主要課題	施策の方向	具体的施策	事業名	事業内容及び具体的実施目標	男女共同参画の視点からみた効果	元年度実施結果に基づく改善内容	年度別の事業計画（R2）	計画事業の実施状況（R2）	1次評価	1次評価の理由 事業実施上の課題・問題点・改善等	2次評価	2次評価記載事項案	総合評価	改善策等の提言
1	市民活動支援課	I	1	(1)	1	人権尊重についての広報・啓発	木更津人権擁護委員協議会木更津市部会主催により、主に12月の人権週間中に各種啓発活動を行い、地元地方紙を通じ広報を行います。	女性の人権擁護についての理解を深めます。	木更津人権擁護委員協議会木更津市部会の主催により、木更津こどもまつりで人権啓発物資を500部配布しましたが、来場者数に対する配布数が少ないため、配布数の増加を検討します。	木更津人権擁護委員協議会木更津市部会の主催により、木更津こどもまつりで人権啓発物資の配布を行います。 また、12月の人権週間及びそれに伴う人権・行政特設相談について市公式ホームページや広報ささらづへの掲載を行い、市民への周知を図ります。	令和2年度の木更津こどもまつりでは出展者募集が行われなかったため、木更津人権擁護委員協議会木更津市部会の主催により、9月27日に開催された『ささらづオレンジフェスタ』に人権啓発物資を500部提供し来場者へ配布しました。 また、12月の人権週間及び12月7日に実施した人権・行政特設相談について市公式ホームページや広報ささらづへの掲載を行い、市民への周知を図りました。	B	当初の計画が変更となったものの、『ささらづオレンジフェスタ』において啓発物資の配布を行うことができました。	A	今後も、さらなる人権啓発の推進のため、さまざまな機会をとりえて柔軟な対応を行い、啓発活動に努めること。	A	2次評価を踏まえて取り組むこと。
3	市民活動支援課	I	1	(1)	1	人権尊重をテーマとした講座・研修会等の開催	木更津人権擁護委員協議会主催により、4市人権擁護委員を対象に、講演会・研修会を開催します。	女性の人権も含めた人権尊重についての理解を深めます。	木更津人権擁護委員協議会の主催により、4市人権擁護委員を対象に研修会を実施しました。 人権相談だけでは対処することができない相談テーマに関して、適切な相談窓口を紹介できるよう情報提供を行うことを検討します。	各種相談窓口の一覧が掲載されたパンフレットを研修開催時に人権擁護委員に配布します。	令和2年7月に予定されていた人権擁護委員研修会については、主催者の判断で中止となったため、パンフレットの配布が行えませんでした。	B	研修会が中止となった場合など、今後は各委員への情報提供方法について検討を行います。	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「実施なし」の評価とする。今後は、中止となった場合の代替手段についても検討を行うこと。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
4	市民活動支援課	I	1	(1)	1	人権尊重をテーマとした講座・研修会等の開催	求めに応じて幼稚園・保育園・小学校等へ訪問し、人権に関する講話等を行います。	女性の人権も含めた人権尊重についての理解を深めます。	小学校5校及び中学校1校で人権教室等を実施し、小学生298名、中学生537名の参加がありました。 今後も人権教室等の未実施校への働きかけを強化することを検討します。	7月開催の校長会にて人権教室等の開催依頼を行います。 また、人権週間期間中に人権教室等を実施します。	7月3日に開催された校長会では人権教室等の説明資料の配布のみ行いました。 また、申込みがあった2校で人権紙芝居及び人権教室を実施し小学生110名の参加がありました。 ・12/8 金田小学校（43名） ・12/16 請西小学校（67名）	B	新型コロナウイルス感染症の影響により希望校が少なかったほか、未実施校への働きかけが困難でした。	B	今後も、校長会等の機会を有効に活用することで人権教室等の周知に努めるとともに、未実施校への働きかけについてもさまざまな手段の利用を検討すること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
7	市民活動支援課	I	1	(1)	1	県・自治体等との情報交換	県内任意の市町村で構成される「千葉県市町村人権施策連絡会」へ参加し情報交換を行います。	本市人権施策を進める上での参考となります。	令和元年度は他の会議と日程が重なり出席がかなわなかったため、可能な限り出席するよう努めます。	令和2年度は、香取市が幹事市となる予定であり、全ての開催回に出席するよう努めます。	令和2年度は会議が中止となりましたが、市職員に向けたLGBTガイドラインについての状況など人権に関する施策について書面により情報交換を行いました。	B	今後も可能な限り出席するよう努めます。	B	今後も、会議が中止された場合でもパンフレット等やオンライン会議システムを通して情報交換を行うなど、柔軟な対応を心がけること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
24	学校教育課	I	2	(1)	1	技術・家庭科の男女共修の徹底	各学校での技術家庭科の共修を徹底します。	男女ともに、基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術のかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てます。	学習指導要領においても、男女共修を踏まえて行うこととされているため、実践的・体験的な学習について、男女共修を実施するよう、技術・家庭科担当教員に対し、働きかけを行います。 技術・家庭科分野に限らず、児童、生徒名簿をはじめ、日常的に男女混合の配置を考慮していきます。	男女共修を踏まえ、基礎的・基本的な知識及び技術の習得等を通じ、男女の相互理解、協力の重要性等を学ぶ機会の充実を図ります。 今年度は、環境教育事業の一環として、エコクッキングを小学校6校において行う予定とし、実践的な活動を行います。	令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により希望校が少なかったほか、未実施校への働きかけが困難でした。 また、市内6小学校で実施予定の環境教育推進事業「エコ・クッキング」も中止となり、次年度以降、感染対策を踏まえた内容に変更して実施できよう、東京ガス担当者に要望中です。	B	従来の活動が制限される中で、感染対策をとりながら実施可能な教育活動を模索する一年でした。 導入された1人1台タブレットの活用と合わせ、魅力ある授業づくりを推進していきます。	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「実施なし」の評価とする。今後は、感染対策を踏まえた開催方法及び中止となった場合の代替手段についても検討を行うこと。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。

【木更津市男女共同参画推進計画（第4次）事業評価表】令和2年度 総合評価（案）

資料3

連番	課名	基本目標	主要課題	施策の方向	具体的施策	事業名	事業内容及び具体的実施目標	男女共同参画の視点からみた効果	元年度実施結果に基づく改善内容	年度別の事業計画（R2）	計画事業の実施状況（R2）	1次評価	1次評価の理由 事業実施上の課題・問題点・改善等	2次評価	2次評価記載事項案	総合評価	改善策等の提言
25	学校教育課	I	2	(1)	1	保健体育の男女共修の促進	保健体育科担当教員に対し、各学校において可能な領域や種目で共修を実践することを働きかけます。	運動における競争や協同の経験を通して、公正な態度や進んで規則を守り互いに協力して、責任を果たす態度を育てます。	各学校において、可能な領域や種目で男女共修の機会を設け、男女の相違等を認識し、相互理解を深めます。運動会、体育祭での学校行事において、共修の機会を設けていきます。	可能な領域や種目で男女共修の機会を設けるよう、各学校に対して働きかけを行います。体育祭でのダンス活動や武道の授業において、男女共修の時間を設け、共修の機会を図っていきます。	男女共修で実施できる単元については、実施するよう働きかけました。新型コロナウイルス感染症防止対策のため、武道を実施する学校が少なかったものの、実施した中学校の中で、男女共修で実施した学校もありました。運動会や体育祭でのダンスについても、実施した学校は少なかったものの、男女共修で実施することができた学校もありました。	B	武道を実施した3校中2校が共修で実施できました。多くの単元で実施するよう周知が必要であると思います。	B	今後も、男女共修の機会を設けるよう各学校に対する働きかけを行い、さまざまな機会をとらえて周知を進め男女共同参画共修の促進に努めること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
26	学校教育課	I	2	(1)	1	PTAや保護者に対する男女共同参画教育理解への働きかけ	全教育活動を通して男女共同参画に関する教育の実施について、PTA・保護者に理解を得ると共に、男女共同参画を図ります。	父親の保護者会参加を呼びかけ、父母が協力して子育てをするという意識を高めめます。	PTA役員、学校評議員、学校支援ボランティア等の活動を通じて、男女共同参画の機会を得ております。PTA役員等の募集においては、男女の差なく、広く呼びかけを行っており、男女参画の機会を図っていきます。	全教育活動において、PTA役員、学校評議員、学校支援ボランティア等の活動を得、男女参画の機会を図っていきます。各学校でのPTA活動等を広報紙等を利用し、保護者に呼びかけを行い、今後のさらなる活動へとつなげていきます。	令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、多くの活動が制限を受けました。そのなかでも、学校評議員や学校支援ボランティア活動等を通じて、男女共同参画を推進しました。登下校の見守り活動等、学校及び地域における安全・安心の確保に対し、男女ともに共同して活動を行うことができました。	B	学校評議員では女性1：男性4、学校支援ボランティアでは女性3：男性1の割合です。学校支援ボランティア活動では、女性の参加が各学校等で活動を支えており、小中学校においては欠かすことのできないものとなっています。今後は、学校評議員への女性の参画機会の促進を図っていきます。	A	今後も、さらなる男女共同参画の推進のため、さまざまな機会をとらえて啓発活動に努めること。	A	2次評価を踏まえて取り組むこと。
27	学校教育課	I	2	(1)	1	教職員に対する研修の実施	教職員が人権に関する正しい理解と認識を深め、指導力と資質の向上を図るため、計画的な研修を推進します。	全教育活動の中で、児童生徒一人一人を大切にすることを推進できるよう、教育課程を編成します。	夏季休業期間を利用して、特別支援教育、道徳、教育相談等の研修会を開催し、教職員の人権に関する正しい理解と認識を深め、今後の指導力と資質の向上を図り、教育課程への反映を行っていきます。	夏季休業期間を利用して、特別支援教育、道徳、教育相談等の研修会を開催し、教職員の人権に関する正しい理解と認識を深め、今後の指導力と資質の向上を図るよう、講座内容を検討します。	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、夏季休業期間を利用した研修会は、すべて中止となりました。今後、同様の状況に直面した場合を想定し、オンラインでの開催に対応できるよう準備を進めています。	B	新しい生活様式化での研修方法を確立し、実施していくこととします。	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「実施なし」の評価とする。今後は、オンライン開催への対応等についても検討すること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
32	地方創生推進課	I	2	(1)	2	保育士への男女共同参画学習の促進	求めに応じて保育士の研修会へ講師を派遣します。	保育士へ男女共同参画の必要性、重要性についての理解が得られます。	保育士の研修会等への講師派遣は、派遣要請を待ただけでなく、関係機関と連携し広く周知を行い、積極的な講師派遣を行います。	派遣要請を待ただけでなく、関係機関と連携し広く周知を行い、積極的な講師派遣を行います。	情報提供により、男女共同参画についての理解を得よう努めました。講師派遣の依頼はなかったため実績はありませんでした。	—	関係部署や関係機関と連携し、情報共有を図ることにより、講師派遣の活用につなげていきます。	—	今後も、関係部署・機関と連携し積極的な周知を行い、男女共同参画の推進を図ること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
37	富来田公民館	I	2	(2)	1	富来田幼児家庭教育学級の開催	就学前の児童を対象に、子育てに対して悩むことなく親同士が気軽に相談できる支援体制作りに役立てます。	子育てに関して、さまざまなことを学ぶことにより、子育てに対する悩みを解決されることが期待できます。	若い父親も一緒に参加しやすい内容や日程を設定し、親子で楽しめる事業内容を検討します。	新型コロナウイルスの感染拡大状況を見極めながら、孤立しやすい地域の母親のコミュニティの場となるように、また子どもの心や体の相談や、母親（夫婦）として必要な知識を学習する学級を開催していきます。	新型コロナウイルス感染予防のため、開催中止となりました。	—	コロナ禍での開催について、模索していきます。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。

【木更津市男女共同参画推進計画（第4次）事業評価表】令和2年度 総合評価（案）

資料3

連番	課名	基本目標	主要課題	施策の方向	具体的施策	事業名	事業内容及び具体的実施目標	男女共同参画の視点からみた効果	元年度実施結果に基づく改善内容	年度別の事業計画（R2）	計画事業の実施状況（R2）	1次評価	1次評価の理由 事業実施上の課題・問題点・改善等	2次評価	2次評価記載事項案	総合評価	改善策等の提言
38	富来田公民館	I	2	(2)	1	富来田子育てセミナーの開催	小・中学生の親として、子どもにどのように接したらよいかを学ぶとともに、地域全体で子育ての支援に役立てます。	地元、小・中学校との連携を図りながら、地域全体で子育てを支援することにより子育てに対する悩みを解決されることが期待できます。	保護者が参加しやすい内容や日程を役員さんと検討しより多くの方に参加していただけるよう、LINEや口コミなどを利用します。	新型コロナウイルスの感染拡大状況を見極めながら、富来田家庭教育学級（いちごくらぶ）として、小・中学生の親を対象に講師を招いて学習会を年11回程度開催していきます。	新型コロナウイルス感染予防のため、計画の半分の開催となりましたが、健康や災害などの知識を高めながら、参加者の交流を深めることができ、概ね当初の計画は達成できました。	B	さらなる親睦を構築しつつ、輪が広がる工夫をしていきます。	B	今後も、さらなる内容の充実にも努めるとともに、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、柔軟な対応を行うことで開催に努めること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
39	岩根公民館	I	2	(2)	1	家庭教育学級の開催	家庭教育学級における学習を通して、子どもの人権や男女平等に関する学習を行います。	子育ての男女（夫婦）共同という意識改革を促進できます。	様々な活動の中で子育てに関する学習会を充実させていきます。小中PTAとの共同事業を位置づけ、男女共同参画の視点を生かした活動に取り組みます。	若根つくし学級（小中学生の子を持つ保護者対象の家庭教育学級）と若根すぎな学級（高校生以上の子を持つ保護者対象の家庭教育学級）を月1回開催します。計画は学級生と話し合い、男女共同参画の視点をもち、家庭教育に生かせるよう、意識を高めていきます。	新型コロナウイルスの影響で公民館の休館が長く続いたため、例年より実施回数は半減しましたが、学習会を通して子育てで健康について学んだり、学級生同士の交流を深めたりしました。 ・つくし学級 「子育てを考えよう」講師 高柳小吉元教頭先生 他 開催回数 5回／在籍人数 23人のべ参加者数 47人 ・すぎな学級 「アロマワックスサシェで心穏やかに」講師 有識者など 開催回数 4回／在籍人数 17人のべ参加者数 28人	B	公民館の休館が長く続いたため、年度当初の年間事業計画の半分以上しか実施できませんでした。Withコロナ時代の家庭教育学級の開催の仕方を検討していきます。	B	今後も、さらなる内容の充実にも努めるとともに、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、柔軟な対応を行うことで開催に努めること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
40	鎌足公民館	I	2	(2)	1	家庭教育学級・幼児家庭教育学級の開催	子育てに関する様々な問題・課題・親のあり方について学習を行う学級を開催します。	家庭教育を学習することによって、男女相互の理解を深め、それぞれの役割を認識し合うことにより男女共同参画の促進に繋がることが期待できます。	子育てに関する様々な問題課題について、話し合い、学習する機会を設けます。	「とんぐり山の親子くらぶ」を開催します。さらに父親が参加しやすい内容とします。	学級生の意見を取り入れながら男女問わず参加できる講座内容での実施を検討しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、実施を見合わせることとしました。	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見合わせましたが、今後、リモートでの開催等を含め、実施方法・内容を検討していく必要があると考えています。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
41	金田地域交流センター	I	2	(2)	1	金田浜っ子なかよしクラブの開催	幼・小学生期の母親に対し、子どもの養育に関する情報交換・学習の機会を設けます。	男女共同参画による活動が促進されることが期待できます。	今年度も、小学校と連携し、新1年生の説明会時に、家庭教育講演会を実施します。	学校と連携して家庭教育講演会を実施します。	今年度も同時期に計画していましたが、学校から「見合わせたい」との申し出があり、開催を見送りました。	—	コロナ禍での開催について、模索していきます。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
42	中郷公民館	I	2	(2)	1	家庭教育学級・幼児家庭教育学級の開催	子育てに関する様々な問題・課題・親のあり方について学習を行う学級を開催します。	男女相互の理解を深め、それぞれの役割を認識し合うことにより男女共同参画の促進に繋がることが期待できます。	育児・家事へ参画する男性割合の低さ（世論）を皆で考え、改善策を模索する内容を取り入れます。	「親おやCAfe」「中郷けやき思春期学級」を開催します。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施することができませんでした。	—	コロナ禍での開催について、模索していきます。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。

【木更津市男女共同参画推進計画（第4次）事業評価表】令和2年度 総合評価（案）

資料3

連番	課名	基本目標	主要課題	施策の方向	具体的施策	事業名	事業内容及び具体的実施目標	男女共同参画の視点からみた効果	元年度実施結果に基づく改善内容	年度別の事業計画（R2）	計画事業の実施状況（R2）	1次評価	1次評価の理由 事業実施上の課題・問題点・改善等	2次評価	2次評価記載事項案	総合評価	改善策等の提言
43	文京公民館	I	2	(2)	1	家庭教育学級・幼児家庭教育学級の開催	家庭教育について（保護者男女問わず）の学習を深めます。	子育てについて、また家庭教育について、男女の別なく保護者としての共通の理解を深めます。	子育てに関する学習の場、共有共感できる場、誰もが参加しやすい場となるように内容を工夫します。日時も検討します。	幼児の親子の学級「にこにこルーム」と小学生の保護者学級「子育て広場カモミール」を開催します。	「にこにこルーム」は、コロナウイルス感染防止のため中止。代わりに「親子で手振り体験」を実施。土日に行ったので父親の参加も見られました。2日間で10家族参加 「カモミール」では7回の開催予定がコロナウイルス感染防止のため4回になりました。Zoom、ICTを活用した情報教育を学ぶ場、子育ての悩みを吐き出す場、自らを振り返る場の提供をし、家庭内でも話題にすることができるようになりました。	B	コロナ禍でやむなく中止とすることが多くなってしまいました。次年度も新しい生活様式の中での活動になりますが、参加者が何を求めているか把握し、誰もが参加しやすい内容や形態を取り入れていきます。	B	今後も、さらなる内容の充実にも努めるとともに、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、柔軟な対応を行うことで開催に努めること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
45	東清公民館	I	2	(2)	1	家庭教育学級・幼児家庭教育学級の開催	子育てに関する様々な問題・課題について学習し、お互いに交流できる学級を開催します。	家庭教育を学習することによって、男女相互の理解を深め、それぞれの役割を認識し合うことにより男女共同参画の促進に繋がることが期待できます。	小中学生のママ講座は、いまま一度、家庭教育の原点から見つめ直すことに重点を置き、従来からの講座内容に加えて、「子育てを考える」プログラムを充実させていきます。幼児家庭教育学級は、今年度も身近なほたる野町内会集会場を会場に実施し、より多くの母親が参加できるように内容の充実を図ります。	小中学生のママ講座（年10回開催予定） 幼児家庭教育学級（年8回開催予定）	コロナ禍で主催事業が9月開講となった影響もあり、小中学生のママ講座は5回の実施に留まりました。しかし、参加率は高く内容も充実していて少ないながらも有意義な会であったと思います。 コロナ禍で幼児対象事業を行わない方針から、幼児家庭教育学級は実施を見送りました。	B	小中学生のママ講座は例年の半分、幼児家庭教育学級は実施できなかったことによる評価です。	B	今後も、さらなる内容の充実にも努めるとともに、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、柔軟な対応を行うことで開催に努めること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
46	清見台公民館	I	2	(2)	1	たんぽぽ家庭教育学級の開催	たんぽぽ家庭教育学級を開催し、親睦交流活動などのイベントで、父親の参加を求めています。	子育ての男女（夫婦）共同という意識の促進が期待できます。	父親も参加できそうな内容も含めて、子育てに関する課題などについて学習、交流の機会を設け、参加者が企画や運営をするよう努めます。	父親が興味をもてそうな内容も考えて、たんぽぽ家庭教育学級を開催します。親子活動については新型コロナウイルスの感染状況をみて計画します。	新型コロナウイルス感染症の影響で参加者が減りました。コロナ感染拡大防止のため9月からの開催となり、今年度は4回しか実施できず、父親の参加はありませんでしたが、家庭で夫婦、家族で検討できる非常持ち出し袋などの、減災に関わる内容を取り入れました。	B	家族で話題にしやすい内容を取り入れ、子育ての男女共同の意識を促します。	B	今後も、さらなる内容の充実にも努めるとともに、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、柔軟な対応を行うことで開催に努めること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
48	岩根西公民館	I	2	(2)	1	なのはな家庭教育学級の開催	小中学生をもつ親を対象にした家庭教育学級を開催し、家庭教育の充実と、子育て支援を図ります。	男女共同参画の視点に立った子育てや家庭内での男女平等意識を高めます。	幅広い年齢層の母親が集まっているので、多様なニーズに合わせた学習課題の設定、計画を多方面から検討します。コロナ禍においても、子育てや家庭生活が豊かになるような学習課題をさがし、幅広い学習ができるようにします。子育てに父親母親が協力して参画できるように学習内容の工夫を図ります。	月1回の学級で、子育てに活用できる学習を様々なジャンルから設定し、興味関心を高く持って積極的に学習できるように内容の工夫と充実を図ります。コロナ禍での心身のストレスを軽減させることができるような内容の学習を取り入れ、少しでも心豊かに家庭生活や子育てができるようにします。	コロナ禍のため、第1回目の開催が9月となりました。年間の学習回数が増減してしまいましたが、取り組んだ学習はコロナ禍でたった心身のストレスを少しでも発散できるように内容を工夫しました。調理に関する内容が少なく残念でしたが、新しい学習に興味・関心を高く持って参加する姿が見られました。家庭のライフプラン、疲れた心身を癒すようなアロマクリーム作り、3B体操や自力整体、段ボールを用いた防災用トイレづくりなどを学びました。 開催回数 5回（9月～1月） 参加人数 13名（のべ27名）	B	中止せざるを得ない回もあり限られた回数での実施でしたが、家庭生活に生かせる内容の学習を充実させることができました。さらに幅広い視野に立った学習内容を工夫していきたいと思っています。	B	今後も、さらなる内容の充実にも努めるとともに、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、柔軟な対応を行うことで開催に努めること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。

【木更津市男女共同参画推進計画（第4次）事業評価表】令和2年度 総合評価（案）

資料3

連番	課名	基本目標	主要課題	施策の方向	具体的施策	事業名	事業内容及び具体的実施目標	男女共同参画の視点からみた効果	元年度実施結果に基づく改善内容	年度別の事業計画（R2）	計画事業の実施状況（R2）	1次評価	1次評価の理由 事業実施上の課題・問題点・改善等	2次評価	2次評価記載事項案	総合評価	改善策等の提言
49	西清川公民館	I	2	(2)	1	家庭教育学級（子育ておしゃべりサロン）の開催	小中学生の子どもたちをもつ親を対象にした家庭教育学級を開催し、子どもたちの心身の発達や親子関係、子育てについての学習を通して家庭教育の充実を図ります。	親と子の関係について考えることで、男女共同を学ぶきっかけとなります。	学級生同士での意見交換を中心として、子育てや家庭環境について積極的に学ぶことができますように支援を行います。	年間6回のグループワークや体験活動による学習と1回の移動研修を予定しています。家族で参加できる回を設け、学級生間だけでなく、家族間でのコミュニケーションについて考えます。	今年度は3回開催し、「コロナ禍での家族生活の変化と不安」をテーマにグループワークを行い、家庭の不安解消に繋げることができました。また、「おうち時間」の有効活用のために、新たな趣味を見つけるきっかけづくりとなりました。	B	学級生発案による企画を増やしていきたいです。	B	今後も、さらなる内容の充実にも努めるとともに、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、柔軟な対応を行うことで開催に努めること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
51	波岡公民館	I	2	(2)	1	系統的な学習・講座の実施	年間事業計画に基づく学級講座において男女平等に関する学習の視点を取り入れます。	男性・女性それぞれの権利についての理解を深めます。	講座の中で、男女平等に関する学習の視点を入れたテーマを設定し実施するよう努めます。令和2年度は男女ともに関係する災害をテーマに取り組みます。	波岡市民講座（防災力UP！講座）を年3回以上実施します。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容を縮小し1月から3月にかけて防災力UP！講座を2回行い、家庭でも行える避難方法をテーマに実施する予定でしたが、1月に緊急事態宣言が発令されたことにより実施できなかったため、公民館だより・ホームページで募集を行うのみに留まりました。	C	2年度は申込者に対する資料提供や、リモートを利用した事業形態も考えつつ男女共同参画の視点も盛り込みながら実施に繋げていきます。	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「実施なし」の評価とする。今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
52	桜井公民館	I	2	(2)	1	各種家庭教育学級の開催	子どもの発達段階に合わせた各種家庭教育学級を開催し、家庭教育の充実と子育て支援を図ります。	男女共同参画の視点に立った子育てや家庭内での男女平等意識を高めます。	子どもの発達段階に合わせた学習テーマに、男女共同参画の内容を取り入れるよう配慮します。	桜井親子家庭教育学級（入園前の幼児保護者を対象）、真舟小学校家庭教育学級（児童の保護者を対象）、思春期家庭教育学級（小学校高学年から青年期の子を持つ保護者を対象）の3学級を実施します。また、この他に幼児の保護者が集い交流する為の場として、子育てフリースペースを定期開催します。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全ての学級を開催することができませんでした。	—	アフターコロナを待ち、事業の再開を果たしたいと考えています。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
53	生涯学習課	I	2	(2)	1	保育つき学級・講座の充実	社会教育施設で開催する各種学級講座の保育活動を実施し、子育て中の保護者が安心して学ぶことができる環境を整備します。	社会教育施設において、保育つき学級や講座を充実させることにより、保育者に学習機会を提供することができます。	保育に必要な知識や技術を身に付けるための学習を支援します。	保育ボランティアグループの活動に協力するとともに、保育者の学習機会の提供に努めます。	新型コロナウイルス感染症の影響で学級・講座が開催できず、保育ボランティアグループの活動も休止となりました。	—	保育に必要な知識や技術を身に付けるための学習機会の提供に努めます。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
54	生涯学習課	I	2	(2)	1	保育つき学級・講座の充実	各公民館で開催する各種学級・講座の保育活動を実施し、学びやすい学習環境を整えます。	各公民館の保育つき学級や講座を充実させることにより、子育て中の女性に学習機会を提供することができます。	保育グループこあらの会と連携し、子育てでも安心して学習できるよう、学習環境を整えます。	保育グループこあらの会と利用機関との話し合いの場を提供し、連携を図ります。	新型コロナウイルス感染症の影響で、話し合いの場を設定できませんでした。	—	ボランティア活動が円滑にいくようこまめな情報の共有について連絡調整に努めます。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。

【木更津市男女共同参画推進計画（第4次）事業評価表】令和2年度 総合評価（案）

資料3

連番	課名	基本目標	主要課題	施策の方向	具体的施策	事業名	事業内容及び具体的実施目標	男女共同参画の視点からみた効果	元年度実施結果に基づく改善内容	年度別の事業計画(R 2)	計画事業の実施状況(R 2)	1 次評価	1 次評価の理由 事業実施上の課題・問題点・改善等	2 次評価	2 次評価記載事項案	総合評価	改善策等の提言
57	生涯学習課	I	2	(2)	2	家庭教育推進協議会の充実	子育て支援の充実を目指し、子育ての悩みや疑問の解決を図るため、家庭教育のあり方について啓発活動を推進します。	家庭教育に関する諸機関が協力することにより、家庭教育に関する情報が網羅的に手に入ります。	家庭教育支援に関する情報交換会や啓発活動を推進します。	家庭教育推進協議会を開催し、家庭教育支援に係る情報交換を行います。	新型コロナウイルス感染症の影響で、家庭教育推進協議会を開催することができませんでした。	—	コロナ禍での開催について、模索していきます。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
58	こども保育課	I	2	(2)	2	男女共同参画教育の家庭への働きかけ	園児の保護者に対して、「園だより」や行事「運動会・保育参観等」の機会に、協働した子育てを理解してもらえよう啓発します。	保護者が子育てや家庭生活を通して、自然に男女平等の必要性について、意識するようになります。	「園だより」、「クラスだより」及び保護者が参加できる行事等を通して子育てにおける協働の大切さの啓発に努めます。	園児の保護者に対して「園だより」「クラス便り」や保護者が参加する行事（運動会・保育参観・保育参加・個人面談等）の中で、協働した子育てを理解してもらえよう啓発します。	新型コロナウイルス感染症の拡大により園行事が中止されたため、例年通りの啓発活動ができませんでした。	B	コロナ禍での啓蒙活動について、模索していきます。	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「実施なし」の評価とする。今後は、中止となった場合の代替手段についても検討を行い、子育てにおける協働の機運を高めるよう努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
63	地方創生推進課	I	3	(1)	1	男女共同参画週間にあわせた広報・啓発	男女共同参画フォーラムのうち1回を男女共同参画週間期間中に開催します。	男女共同参画施策について、より一層の広報、啓発となります。	男女共同参画週間（6月下旬）に合わせて、男女共同参画フォーラムを開催します。	新型コロナウイルスの感染拡大状況を見極めながら、男女共同参画週間の期間中（6月下旬）に男女共同参画フォーラムを開催できるよう努めます。	緊急事態宣言等の発令により、男女共同参画週間の期間中の男女共同参画フォーラムの開催は見送らざるを得ませんでした。	—	今後も期間中にフォーラムを開催できるよう努めます。	—	今後は、オンラインを活用した開催など、さまざまな開催方法の検討を行い期間内の開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
69	地方創生推進課	I	3	(1)	2	人権保障に関する条例・法令等の広報	男女共同参画情報紙（広報ささらつ折り込み）へ掲載します。	人権保障についての理解が得られます。	人権保障に関する条例・法令等に関して、男女共同参画情報紙へ掲載できるよう、男女共同参画情報紙の紙面の構成を工夫し、掲載に努めます。	人権保障に関する条例・法令や最新の状況等について、分かりやすい内容や紙面の構成などに努め、男女共同参画情報紙へ掲載します。	紙面の都合により、市広報紙に多くの記事は掲載できませんでした。関連した各種情報を資料掲示等により提供しました。	B	市広報紙への掲載内容を工夫するとともに、情報提供等による啓発に努めます。	B	今後も広報紙だけでなく、市公式HPやSNS等さまざまな媒体の活用も含めて効果的な情報提供等に努めること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
72	地方創生推進課	I	3	(2)	1	あらゆる機会を使っての情報収集	ちは男女共同参画行政担当者連絡会議に出席します。	各種情報の収集・連携が図れ、本市の男女共同参画施策を進める上での参考となります。	ちは男女共同参画行政担当者連絡会議に出席し、情報収集に努めます。	ちは男女共同参画行政担当者連絡会議に出席し、男女共同参画に関して、県・他市町村等の情報収集に取り組めます。	ちは男女共同参画行政担当者連絡会議は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。	—	次回開催時には会議に参加し、情報交換等を行います。	—	今後は、オンライン開催についても対応できる体制を整えるなど、情報提供に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
77	経営改革課（各課）	Ⅱ	1	(1)	1	審議会等における女性委員の構成比率の拡大	女性の意見を政策や方針に反映させる必要があることから、「附属機関等の委員の選任等指針」に基づく委員選出の促進を図り、審議会等における女性委員の構成比を高めます。	男女共同参画の実現を図るためには、女性が参画できる環境づくりが重要であり、審議会等における女性委員の構成比を高めることにより男女共同参画実現への環境づくりに繋がります。	「附属機関等の委員の選任等指針」に基づき、審議会等における女性委員の割合が40％以上となるよう取り組みます。	審議会等における女性委員の割合を40％以上になるよう取り組みます。 ※令和2年度実績は23.8％です。	令和2年度は委員選出の推進を図り、審議会等における女性委員の構成比を高めるため周知してきましたが、目標には達しませんでした。	B	審議会等における女性委員の構成比を高めるための周知方法等について、再度検討し、目標に向けた取り組みが必要です。	B	引き続き女性委員の割合の引き上げにつながる啓発に努めることにより、女性が参画できる環境づくりの推進を図ること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。

【木更津市男女共同参画推進計画（第4次）事業評価表】令和2年度 総合評価（案）

資料3

連番	課名	基本目標	主要課題	施策の方向	具体的施策	事業名	事業内容及び具体的実施目標	男女共同参画の視点からみた効果	元年度実施結果に基づく改善内容	年度別の事業計画（R2）	計画事業の実施状況（R2）	1次評価	1次評価の理由 事業実施上の課題・問題点・改善等	2次評価	2次評価記載事項案	総合評価	改善策等の提言
79	各課	Ⅱ	1	(1)	1	審議会等委員の公募の実施	審議会等委員の公募を実施します。	審議会等における女性委員の構成比を高めることにより男女共同参画実現への環境づくりに繋がります。	実施可能な審議会等委員の公募に取組みます。	審議会等委員の公募を実施します。進行管理では、公募の実施可能な審議会と公募がなされない審議会を区別し、分かりやすい実施状況の見せ方に取り組みます。	審議会委員を公募している割合は、32.1%です。 ・審議会等 53 ・うち公募を実施 17 詳細については、別紙様式2のとおりです。	B	会議の専門性等により、公募がなされないものについては、公募の実施ができませんでした。	B	委員推薦時に公募の実施が可能な会議等については、公募の検討について引き続き各課にて努めること。また、会議の専門性により公募が可能な会議と公募がなされない会議を区別し、数値の算出等に配慮するよう努めること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
83	農林水産課	Ⅱ	1	(1)	2	女性の方針決定の場への参画の促進	家族経営協定締結を促進し、調印を推進します。	農林漁業に従事する女性の技術、経営管理能力が向上するとともに、家族経営協定制度の普及及び促進が図られます。	君津農業事務所と連携してセミナーへの参加を促進し、農業委員会事務局や君津農業事務所と連携して、家族経営協定の締結促進に努めます。	農業委員会事務局及び君津農業事務所と連携して、家族経営協定の周知を図り、セミナーへの参加を促進し、家族経営協定の締結を推進します。	令和2年度においては、新たに家族経営協定の締結はなく、協定締結数の合計は25件となっています。	B	家族経営協定については、君津農業事務所と連携してセミナー等を活用して積極的に推進し、参加を促進していきます。	B	今後もセミナーの参画や様々な周知により家族経営協定を推進し、女性の方針決定に対する参画の促進を図ること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
85	学校教育課	Ⅱ	1	(1)	2	女性教職員の管理職への積極的登用の働きかけ	女性教職員のための研修会を開催します。	男女を問わず、適した教員が管理職になることで、学校運営に反映されます。	木更津市における女性教諭対象の研修会を毎年7月、2月に開催をしています。限られた時間の中で、より多くの女性教職員が参加できるように学校及び関係機関に働きかけを行っています。	木更津市における女性教諭対象の研修会を7月、2月に各1回開催します。研修を通じて、意識の向上を図り、人材育成に努めていきます。また、女性教職員の活躍の拡大と、女性管理職の登用へつなげていきます。	新型コロナウイルス感染症の影響で、予定されていた研修会は中止になりました。	—	感染状況が好転しない場合、オンライン開催ができるかどうか検討します。	—	今後は、研修会について感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努め、女性活躍の拡大と女性管理職の登用を推進すること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
86	学校教育課	Ⅱ	1	(1)	2	女性教職員の管理職への積極的登用の働きかけ	管理職研修会を開催し、女性の参加を積極的に促します。	男女を問わず、適した教員が管理職になることで、学校運営に反映されます。	君津地方における女性管理職教諭を対象に研修会を5月、7月、8月に各1回、県では7月、12月に各1回開催し、人材育成に努めました。令和2年度も開催し、女性教職員の管理職への積極的登用につなげていきます。	君津地方における女性管理職教諭を対象に研修会を5月、7月、8月に各1回、県では7月、12月に各1回開催します。女性教職員の参加を積極的に促します。また、参加者相互の連携の強化により、意識の向上を図るとともに人材育成につなげていきます。	新型コロナウイルス感染症の影響で、予定されていた研修会は中止になりました。	—	感染状況が好転しない場合、オンライン開催ができるかどうか検討します。	—	今後は、研修会について感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努め、女性活躍の拡大と女性管理職の登用を推進すること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
94	農林水産課	Ⅱ	2	(1)	2	経営・労働環境の向上の促進	家族経営協定締結セミナーへの参加を促進し、調印を推進します。	農林漁業に従事する女性の技術、経営管理能力が向上するとともに、家族経営協定制度の普及及び促進が図られます。	君津農業事務所と連携してセミナーへの参加を促進し、農業委員会事務局や君津農業事務所と連携して、家族経営協定の締結を促進します。	農業委員会事務局及び君津農業事務所と連携して、家族経営協定の周知を図り、セミナーへの参加を促進し、家族経営協定の締結を推進します。	令和2年度においては、新たに家族経営協定の締結はなく、協定締結数の合計は25件となっています。	B	家族経営協定については、君津農業事務所と連携したセミナー等を活用して積極的に推進し、参加を促進していきます。	B	今後もセミナーの参画や様々な周知により家族経営協定を説明し、締結数増加に努めること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
96	農林水産課	Ⅱ	2	(1)	2	女性の技術・経営管理能力の向上の促進	君津農業事務所（県）の行う女性向けのセミナー等の活用を推進します。	女性の技術・経営管理能力の向上や女性起業家の育成が図られます。	君津農業事務所が主催する農業いきいき交流会やその他の女性向けセミナー等を市広報誌、市ホームページ等を活用して、周知に努めます。	君津農業事務所が主催する女性向けセミナーの参加を促すため、市広報誌、市ホームページ等を活用して、周知を図ります。	平成12年度に設立されたきみづ4市起業家ネット（君津農業事務所所管）研修会や女性農業者スキルアップ視察研修会、又は県女性農業者ネットワークへの参加を促しました。	B	君津農業事務所（県）が行う女性向けセミナーについては、今後も君津農業事務所と連携して積極的な活用を図っていきます。	A	今後もセミナーの参画やさまざまな研修会等の周知により、女性起業家の育成に努めること。	A	2次評価を踏まえて取り組むこと。

【木更津市男女共同参画推進計画（第4次）事業評価表】令和2年度 総合評価（案）

資料3

連番	課名	基本 目標	主要 課題	施策の 方向	具体的 施策	事業名	事業内容及び 具体的実施目標	男女共同参画の 視点からみた効果	元年度実施結果に 基づく改善内容	年度別の事業計画（R2）	計画事業の実施状況（R2）	1次 評価	1次評価の理由 事業実施上の課題・ 問題点・改善等	2次 評価	2次評価記載事項案	総合 評価	改善策等の提言
98	農林水産課	Ⅱ	2	(1)	2	女性の経営参画の促進	農山漁村男女共同参画フォーラムの参加を推進し、経営参画を促進します。	女性起業家の育成が図られます。	農山漁村男女共同参画フォーラムに参加し、情報交換に努めます。	農山漁村男女共同参画フォーラムに参加して、情報交換を行うことにより、女性の経営参画を促進します。	平成12年度に設立されたきみつ4市起業家ネット（君津農業事務所所管）研修会や女性農業者スキルアップ視察研修会、ちば県女性農業者ネットワークへの参加を促しました。	B	君津農業事務所（県）が行う女性向けセミナーについては、今後も君津農業事務所と連携して積極的な活用を図っていきます。	A	今後もセミナーの参画やさまざまな研修会等の周知により、女性起業家の育成に努めること。	A	2次評価を踏まえて取り組むこと。
99	産業振興課	Ⅱ	2	(1)	2	女性の経営参画の促進	木更津商工会議所女性部との情報交換を行うことにより、団体の強化を図り、女性の経営参画を促進します。	女性の経営参画の促進が期待されます。	木更津商工会議所女性部との情報交換の場が、総会のみであったため、更なる連携について検討します。	木更津商工会議所女性部と情報交換を行うことで団体の強化を図り、女性の経営参画を促進します。	木更津商工会議所女性部と総会や商工会議所が主催するイベントが新型コロナウイルスの影響で中止となり、情報交換の機会が減少してしまいました。	B	総会や木更津商工会議所が主催するイベント等が中止となり情報交換の機会が減少しましたが、女性の経営参画促進を強化するために研修等の情報提供が必要となることから、今後も積極的な周知に努めます。	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「実施なし」の評価とする。今後は、中止となった場合の代替手段についても検討を行うこと。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
100	農林水産課	Ⅱ	2	(1)	2	県・関係機関・団体との連携の推進	関係機関と連携し、女性の共同参画の場を設け、推進を図ります。	女性起業家の育成、家族経営協定制度の普及及び促進が図られ、女性の経営参画の促進につながります。	君津農業事務所と連携し、女性の共同参画の場を設け、市広報紙、市ホームページ等を活用して、周知に努めます。	君津農業事務所が所管しているきみつ4市起業家ネット研修会、君津地域いさい交流会等の女性の共同参画の場を市広報紙、市ホームページ等を活用して、周知を図ります。	平成12年度に設立されたきみつ4市起業家ネット（君津農業事務所所管）研修会や女性農業者スキルアップ視察研修会、ちば県女性農業者ネットワークへの参加を促しました。	B	関係機関と連携し、女性の共同参画の場を設け、今後も積極的な活用を図っていきます。	A	今後もセミナーの参画やさまざまな研修会等の周知により、女性起業家の育成に努めること。	A	2次評価を踏まえて取り組むこと。
101	農林水産課	Ⅱ	2	(1)	2	県・関係機関・団体との連携の推進	女性組織（JA女性部・漁協婦人部・君津農業事務所等）と協力し、ネットワークの準備を支援します。	女性起業家の育成、家族経営協定制度の普及及び促進が図られ、女性の経営参画の促進につながります。	女性組織（JA女性部・漁協婦人部・君津農業事務所等）と協力し、ネットワーク化に向けた支援をします。	農山漁村男女共同参画フォーラムを通じて、女性の経営参画やネットワーク化に関する情報交換を行い、女性組織（JA女性部・漁協婦人部・君津農業事務所等）と協力し、ネットワーク化に向けた支援をします。	君津農業事務所（県）と連携して女性の経営参画に繋がる研修会の開催を促し、農業女子のネットワーク化に努めました。	B	農業女子ネットワークについては、君津農業事務所（県）と連携し、今後も積極的に情報交換の場の活用を図っていきます。	A	今後もセミナーの参画やさまざまな研修会等の周知により、農業女子のネットワーク化に努めること。	A	2次評価を踏まえて取り組むこと。
102	農林水産課	Ⅱ	2	(1)	2	認定農業者制度の周知と支援推進	関係機関と連携し、認定農業者制度を普及し、女性認定農業者の認定を推進します。	女性認定農業者の普及及び推進が図られ、女性の経営参画の促進につながります。	農業委員会事務局、君津農業事務所及びJA木更津市との連携を密にして、情報を交換しながら認定農業者制度の周知を図ります。	農業委員会事務局、君津農業事務所及びJA木更津市との連携を密にして、情報交換しながら認定農業者制度の周知を図り、女性認定農業者の認定を促します。	令和2年度においては、女性の認定農業者及び女性の認定新規就農者の新規認定はなく、女性の認定農業者が27人、女性の認定新規就農者は2人となっております。	B	女性の認定農業者等については、君津農業事務所（県）と連携を図り、今後も積極的な周知に努めつつ、推進していきます。	B	女性の経営参画の促進のため、引き続き関係団体・機関と連携し、認定農業者制度の周知を図り、女性認定農業者認定の推進に努めること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。

【木更津市男女共同参画推進計画（第4次）事業評価表】令和2年度 総合評価（案）

資料3

連番	課名	基本目標	主要課題	施策の方向	具体的施策	事業名	事業内容及び具体的実施目標	男女共同参画の視点からみた効果	元年度実施結果に基づく改善内容	年度別の事業計画（R2）	計画事業の実施状況（R2）	1次評価	1次評価の理由 事業実施上の課題・問題点・改善等	2次評価	2次評価記載事項案	総合評価	改善策等の提言
112	こども保育課	Ⅲ	1	(1)	1	男女で参加できる家事・育児や在宅介護・看護のための講座・講習等の開催	「子育て支援センター・ゆりかもめ」において、相談や講習会等を実施します。	育児不安の解消や、父親の子育てへの積極的な参加を促します。	子育て支援センターにおいては、父親の子育てへの積極的な参加についての啓発や母親一人での「孤育」になるケースに対する、アプローチを実施していきます。 子育て支援センターは子育て支援課の管轄となりますが、こども保育課の管轄である公立保育園においても保育講座、離乳食講座、公民館講座、子育て講座等で父親の積極的な子育て参加等を啓蒙しています。	「子育て支援センター・ゆりかもめ」において、相談や講習会等を実施します。 また、公立保育園主催の保育講座、離乳食講座を実施していきます。 (保育講座)3回予定 (離乳食講座)3回予定 保育園保護者を対象に子育て講演会を開催します。 (子育て講演会)1回予定 (公民館講座)5箇所予定	今年度は例年行っている「保育講座」「離乳食講座」「子育て講演会」「公民館講座」や健康推進課との共同事業である「7か月児教室」の新型コロナウイルス感染症の拡大による中止や、開催形態の変更等を余儀なくされました。そのような状況下においても子育て世代への情報は新方法を模索し動画配信やZoomでの講座に参加する方法で、子育ての協働について啓蒙を行っています。	B	新型コロナウイルス感染症の拡大により園行事が中止されたため、例年通りの啓蒙活動ができませんでした。	B	今後も、さらなる内容の充実にも努めるとともに、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、柔軟な対応を行い、子育てにおける協働を図ること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
113	西清川公民館	Ⅲ	1	(1)	1	「男の料理教室」の開催	料理の基礎をまなぶ不慣れた男性を対象に、料理教室を開催します。	家事の共同によって、家庭内で相互理解を深めることができます。	参加者を増やすため、移動研修を取り入れるなど工夫し、また、家族の健康についても考えることができるようにアプローチを図ります。	年間5回の調理実習と1回の移動研修を予定しています。各回において季節毎の栄養価の高い食材の活用方法を学びます。また、地区文化祭において模擬店を出店し、教室の成果と達成感を感じることができるよう教室を実施します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できませんでした。	—	コロナ禍での開催について、模索していきます。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努め、家事における協働を図ること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
114	桜井公民館	Ⅲ	1	(1)	1	「男の料理教室」の開催	男性の生活の自立を促すため、料理教室を開催します。	家事の共同によって、家庭内で相互理解を深めることができます。	主催事業からサークル化した団体の一つであり、現在は自主的な運営がされていますが、新規会員の獲得等に関して公民館として引き続き支援を行っています。	サークル一覧への掲載、問い合わせへの対応等、会員確保に関する支援をします。	新型コロナウイルス感染症の影響で、全ての学級を開催することができませんでした。	—	アフターコロナを待ち、事業の再開を果たしたいと考えています。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努め、家事における協働を図ること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
115	危機管理課	Ⅲ	1	(2)	1	女性の地域における防災活動等への参加促進	自主防災組織等の防災訓練や講習会での女性の積極的な参加を促します。	防災活動への女性の参加が促進できます。	女性でも気軽に参加してみたい内容や多様なライフスタイルを考慮した講習会や男性女性双方の視点に立った防災訓練の開催を検討し、防災活動に関わる女性の裾野を広げるとともに防災意識の高揚を図ります。	木更津市自主防災実務者講習会（千葉県災害対策コーディネーター養成講座）を1回開催し、女性を含む地域の防災リーダーを育成し、地域防災力の向上を図ります。 また、女性の防災活動参画の必要性などの啓蒙も含め市内の自主防災組織等が行う防災訓練や講習会に職員を派遣し自主防災活動を支援します。	木更津市自主防災実務者講習会（千葉県災害対策コーディネーター養成講座）は新型コロナウイルス感染症拡大により、中止となりました。また、防災訓練を11月29日に実施しました。 さらに、自主防災組織等が主催する防災訓練や講習会に職員を派遣し、訓練等の支援を行いました。	B	新型コロナウイルス等の影響により、スケジュールの延期や中止がありましたが、概ね予定通り実施することができました。昨年の災害等により、市民の防災意識が高くなっていることから、今年度についても内容を精査し、実施していく予定です。	B	今後も、さらなる内容の充実にも努めるとともに、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、柔軟な対応を行い、女性の防災活動等への参加促進を図ること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。

【木更津市男女共同参画推進計画（第4次）事業評価表】令和2年度 総合評価（案）

資料3

連番	課名	基本目標	主要課題	施策の方向	具体的施策	事業名	事業内容及び具体的実施目標	男女共同参画の視点からみた効果	元年度実施結果に基づく改善内容	年度別の事業計画（R2）	計画事業の実施状況（R2）	1次評価	1次評価の理由 事業実施上の課題・問題点・改善等	2次評価	2次評価記載事項案	総合評価	改善策等の提言
119	岩根西公民館	Ⅲ	1	(2)	1	公民館ボランティア活動の促進	公民館支援ボランティアを募集し、公民館活動の充実を図ります。	男女共同参画の視点に立って、男女平等意識を高めます。	自らの申し出で花壇に花を植えて整備していただくなど、自発的なボランティア活動がありましたので、今後の継続的な活動に繋げていきます。また、他のボランティア充実に向けた呼びかけも積極的に行っていきます。	コロナ禍のため、できることが限られてきますが、花壇整備以外にも今年度予定している通学合宿ボランティア、文化祭ボランティアなど、比較的大きな行事においても男女の区別なく、支援ボランティアの充実に努めます。	整備ボランティアは、参加者の高齢化に伴い形骸化してきていたが、R2年度は公民館利用者の方が自発的に公民館の花壇に花を植え、整備を行ってくれました。 なお、新型コロナウイルス感染症の拡大により、通学合宿や文化祭が中止になったことに伴い、各ボランティア活動も中止になりました。	B	公民館利用者の自らの申し出で、花壇に花を植えて整備していただくなど、徐々にではありますがボランティア活動が芽吹いてきているので、広域的な活動に繋がるよう働きかけていきたいと思います。	B	今後は、行事等が中止になった場合も含めて、ボランティア活動が広域的なものとなるよう努めるとともに、継続的なボランティア活動により公民館活動の充実を図ること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
122	市民活動支援課	Ⅲ	1	(2)	1	市民活動支援事業の推進	市民活動支援センターを拠点として、男女ともに地域における市民活動への参加を促進し、地域自治によるまちづくりを推進します。	市民活動支援センターを拠点に多種多様な団体が活動をしており、男女ともに参加しやすいセンターとして整備いたします。	市民活動支援センターの登録団体の活動やボランティア募集を、SNSを通じて実施し、幅広い年代に周知に行きます。	市民活動支援センターが開館してから3年以上が経過しており、来館者数及び市民活動支援センターの登録団体も増加し、更に市民活動を活性化させるため、登録団体のPR方法やボランティア募集について指定管理者と協議します。	市民活動の活発化のため、広報紙やSNS等を活用して登録団体のPRを行い、市民活動の普及を図りました。また、登録団体が人材を募集できる、ボランティアコーナーを施設内に設け、活動人材の確保を図りました。	B	指定管理者と協議し、登録団体のPR及びボランティア募集を行いました。より効果的なPR及び募集方法を検討する必要があります。	A	今後も、さらなるPR活動の充実を図るとともに、さまざまな媒体を活用した募集を行うなど、市民活動支援事業の推進を図ること。	A	2次評価を踏まえて取り組むこと。
125	まなび支援センター	Ⅲ	1	(3)	1	学校における国際理解教育の推進	異文化交流体験等の国際理解教育を支援します。	ALTや諸外国の方とのふれあいを通して、国際理解を推進することができます。	異文化交流・体験の機会を更に増やしていき、交流活動等の情報提供を行っていきます。	国際交流集会等を通して国際理解教育を推進します。	11月に富来田小学校にて実施されたワールドフェスティバルにALT12名が参加しました。各学年に2名ずつ入り、それぞれの国や文化の紹介を行い、交流しました。	B	国際交流集会等の活動を他の学校にも広げていけるよう働きかけます。	A	今後も、活動内容の充実化とともに、国際理解教育の推進に努めること。	A	2次評価を踏まえて取り組むこと。
126	まなび支援センター	Ⅲ	1	(3)	1	学校における国際理解教育の推進	市立小中学校に外国語指導助手(ALT)を配置し、様々な国の文化にふれる機会を促進します。	ALTとのふれあいを通して、国際理解を推進することができます。	ALTの配置を増やしALTとの触れ合いの場を増やします。より効果的にALTを活用してもらうよう、学校との連携を図ります。	教育活動全体を通して、ALTを積極的に活用し、コミュニケーション能力の育成と、国際理解教育を推進します。	小学校の外国語活動・外国語科の授業に100%近くALTが入れるよう配置しました。ALTの積極的な活用を促し、コミュニケーションスキルの育成に努めました。	B	さらなる適正配置、ALTの効果的な活用が促進されるよう働きかけます。	A	今後も、活動内容の充実化とともに、国際理解教育の推進に努めること。	A	2次評価を踏まえて取り組むこと。
129	観光振興課	Ⅲ	1	(3)	1	外国人観光客のための外国語表示・標識の設置の促進	外国人観光客が、分かりやすく観光できるように、観光案内板の改修など外国語表示の充実を図り、外国人観光客の誘致促進を図ります。	外国人観光客が、分かりやすく観光できるように、観光案内板の改修など外国語表示の充実を図ります。	「JNTO外国人観光案内所カテゴリー認定」に必要な準備等を進めていくとともに、観光協会のHPやSNS等による外国語表示の充実化を図ります。	引き続き「JNTO外国人観光案内所カテゴリー認定」に向け、準備を進めます。また、多言語で発信できる観光WEBサイトの構築等に向け、観光協会や関連事業者と連携しながら発信力の強化に努めます。	カテゴリー認定には至りませんでした。が、日本語を含め8言語対応可能なwebサイトを作成し、このサイトにつながるQRコードを様々な場所に貼付する取り組みに着手しました。(R3完成予定)	B	カテゴリー認定については、外国語対応が可能となる人材の確保やシステム導入などハードルが高いうえ、新型コロナウイルス感染症の影響によりインバウンドの受け入れが難しい状況となっていることから、導入時期や費用対効果の面など改めて総合的に検討して必要があります。	B	JNTO認定外国人観光案内所の認定を受けることはインバウンド誘致促進につながる有効な取組のため、認定に向けた課題を整理し、認定取得に努めること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。

【木更津市男女共同参画推進計画（第4次）事業評価表】令和2年度 総合評価（案）

資料3

連番	課名	基本目標	主要課題	施策の方向	具体的施策	事業名	事業内容及び具体的実施目標	男女共同参画の視点からみた効果	元年度実施結果に基づき改善内容	年度別の事業計画（R2）	計画事業の実施状況（R2）	1次評価	1次評価の理由 事業実施上の課題・問題点・改善等	2次評価	2次評価記載事項案	総合評価	改善策等の提言
130	観光振興課	Ⅲ	1	(3)	1	外国語版観光ガイド等の作成	外国語版観光ガイド等を作成し、本市来訪の外国人観光客に配布することにより、利便性の向上及び国際会議観光都市としての受け入れ体制の整備により、国際会議等の顧客誘致の推進を図ります。	外国人観光客の利便性が向上し、国際会議等に参加する顧客の増加が期待され、国際理解と交流の推進となります。	外国語版観光ガイドの配布状況を適切に見極め、修正・増刷について検討していきます。	次年度開催予定の東京オリンピック・パラリンピック競技大会や今後のインバウンド市場の状況を鑑み、訪れた外国人観光客の利便性を考慮したパンフレットの作成を検討していきます。	外国語版観光ガイドマップの作成は見送りました。	C	新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人観光客が見込めないことから、今後は感染状況を鑑みながらパンフレット作成のタイミングを図っていきます。	—	今後は、新型コロナウイルス感染症の状況やインバウンド市場の推移を注視し、作成の是非について改めて検討を行うこと。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
131	地方創生推進課	Ⅲ	1	(3)	2	各種案内板等の外国語表示・標識の設置の促進	市設置の各種案内板に、英語表記をすることが望まれます。	外国人にも暮らしやすい環境となります。	各課が自発的に外国語案内板作成に取り組めるよう、ガイドラインの作成に努めます。	各課が自発的に外国語案内板作成に取り組めるよう、ガイドラインの作成に努めます。また、必要に応じて、市設置の各種案内板に英語表記をするよう、関係課に要望します。	外国人市民のための情報提供ガイドラインを策定し、その中で各課の役割として、関係各課に働きかけを行いました。	B	ガイドラインの定着を目指し、今後も各課に働きかけを行います。	B	各課が自発的に外国語案内板作成に取り組めるよう、ガイドラインの周知等の積極的な働きかけに努めること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
139	こども保育課	Ⅲ	2	(2)	1	育児・介護支援サービス情報の提供	保育園入園や子育てに関する情報をホームページや情報紙により提供します。	保育園の入園情報や子育て情報が容易に入手できるようになります。	保育園施設入園のご案内の冊子の中で、Q&Aや保育園の特色等の掲載内容の充実を図るなど、子育てに関してより詳しく分かりやすい情報提供に努めます。	保育園の入園や子育て支援に関する情報について掲載しているホームページの更新、入園案内の際に配布する「保育園施設入園のご案内」の内容の充実を図ります。	保育園入園案内に「保育園の特色」等を追加掲載し、分かりやすくするため内容の見直しをしました。きさらづプロモーションチャンネルを活用し、保育士による家庭でできる遊びの動画配信をしました。	B	保育園入園や子育てに関する情報のホームページ更新が十分に実施できませんでした。	B	今後はホームページの更新をはじめ、情報紙やきさらづプロモーションチャンネルなどさまざまな媒体により情報提供に努めること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
142	地方創生推進課	Ⅲ	2	(2)	1	男性の育児介護休業取得促進のための啓発	男女共同参画情報紙（広報きさらづ折込み）へ掲載します。	男性の育児・介護休業取得者の増加が期待できます。	男性の育児介護休業取得促進につながる記事を男女共同参画情報紙に掲載できるように努めます。	男性の育児介護休業取得促進として、「イクメンプロジェクト」等の記事を分かりやすく男女共同参画情報紙に掲載します。	フォーラムのテーマとして盛り込むとともに、さらなる内容の充実にも努めます。	B	今後も記事のバランスを考慮し啓発を進めていきます。	B	今後はホームページ更新を含めた情報発信の充実にも、男性の育児介護休業取得の促進を図ること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
144	シティプロモーション課	Ⅲ	2	(2)	1	ICTを活用した子育て世代女性支援	ICTを活用した子育て支援、キャリアアップ支援等を行うサイトの運用を通じ、子育てしやすい環境づくりを促進し、女性の社会参加・社会進出を進めます。	子育て世代女性の社会参加・再就職の促進に寄与します。	「きさらづ働くママ応援サイト」について、市ホームページ、らづナビ、SNSなど様々な媒体を活用し、存在の周知またアクセス数の向上を目指します。	「きさらづ働くママ応援サイト」について、市ホームページ、SNSなど様々な媒体を活用し、存在の周知またアクセス数の向上を目指します。また、内容の充実を図るため、市からも子育てなどに関する情報を積極的に提供します。	「きさらづ働くママ応援サイト」において、市公式YouTubeチャンネル「きさらづプロモーションチャンネル」でアップしている子育て支援動画や子育てに関する市の事業を大きく取り上げていただき、サイト閲覧者へ子育てに関する情報を周知することができました。	B	令和2年度のアクセス数は、毎月ほぼ横ばいであり、サイト自体の周知がまだ足りないと思われ。市ホームページやらづナビなどの媒体でサイト自体の周知を図っていきます。	B	市ホームページ、らづナビ、SNSなど様々な媒体を活用し、更新頻度や子育て世代の女性に対する就労支援についての内容の充実にも、アクセス数を向上させ、有効なツールとして活用できるよう、今後も周知等に努めること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
145	介護保険課	Ⅲ	2	(2)	2	介護支援サービスの推進	身近な日常生活圏に密着した介護サービスの拠点となる施設を整備充実させ、利用者ニーズにあった介護サービスの充実を図っていきます。	男女ともに住み慣れた地域で介護サービスを受けることにより、より安心して暮らすことが期待できます。	高齢者が介護を要する状態になっても、できる限り住み慣れた地域で生活することができるよう、引き続き地域密着型サービスの充実を図ります。	地域に根ざし、ニーズに合った地域密着型の介護施設の整備のため、小規模多機能型居宅介護、認知症高齢者グループホームの整備事業者を選定します。	小規模多機能型居宅介護、認知症高齢者グループホームの整備事業者を選定するため公募手続きを実施しましたが、応募事業者がいませんでした。	C	公募に対し応募がなかったため、介護保険事業計画策定時に募集内容を再検討しました。	C	整備事業者の公募に関し、公募のタイミングや周知方法をさらに見直し、整備事業者の選定に努め、引き続き介護支援サービスの推進を図ること。	C	2次評価を踏まえて取り組むこと。

【木更津市男女共同参画推進計画（第4次）事業評価表】令和2年度 総合評価（案）

資料3

連番	課名	基本目標	主要課題	施策の方向	具体的施策	事業名	事業内容及び具体的実施目標	男女共同参画の視点からみた効果	元年度実施結果に基づく改善内容	年度別の事業計画（R2）	計画事業の実施状況（R2）	1次評価	1次評価の理由 事業実施上の課題・問題点・改善等	2次評価	2次評価記載事項案	総合評価	改善策等の提言
149	地方創生推進課	IV	1	(1)	1	性と生殖に関する尊厳性と健康についての啓発	男女共同参画情報紙（広報ささらつ折り込み）へ掲載します。	性と生殖に関する尊厳性や健康への理解が深められます。	性と生殖に関する尊厳性に関し、男女共同参画情報紙へ掲載できるよう、男女共同参画情報紙の紙面の構成を工夫し、掲載に努めます。	性と生殖に関する尊厳性と健康の啓発となる記事の掲載に取り組みます。	限られた紙面の中で「性と生殖に関する尊厳性と健康」に関する記事は掲載できませんでしたが、資料揭示等の方法により情報の提供に努めました。	B	来年度以降の男女共同参画情報紙へ掲載できるように努め、引き続き情報提供等による啓発に取り組みます。	B	今後も広報紙だけでなく、市公式HPやSNS等さまざまな媒体の活用も含めて効果的な情報提供等に努めること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
154	高齢者福祉課	IV	1	(2)	1	介護予防教室の開催	高齢者ができる限り介護を受けずに健康で生き生きした生活を送れるように支援します。	男女ともに介護予防への積極的な参加を促します。	男女ともに、介護予防教室への積極的な参加を促して、引き続き各種介護予防教室の開催に努めます。	広報紙・ホームページ（イベントカレンダー）に掲載し、各種介護予防教室を開催します。 ・自立生活体操 年間 390回開催予定 ・高齢者の食と運動の元気アップ教室 年間 3コース（1コース6回ずつ）開催予定	各種介護予防教室を開催しましたが、感染症対策のため開催回数は予定より減少しました。 そのため、自宅でできる簡単な介護予防体操「ささぽん体操」の動画を制作し、YouTubeやケーブルテレビでの配信や広報紙・ホームページ等を活用し紹介しました。 ・自立生活体操 年間248回開催 ※感染症対策のため約4カ月休止 ・高齢者の食と運動の元気アップ教室 年間1コース（6回）開催 ※感染症対策のため2コースは中止	B	やむを得ない状況とはいえ、開催実績が上げられませんでした。代替案として工夫して取り組むことができたので、今後も経験を生かし健康で生き生きした生活が送れるよう支援をしていきます。	B	今後も、さらなる内容の充実にも努めるとともに、感染防止に配慮した開催方法やオンラインサービスの活用など、柔軟な対応を行い開催に努めること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
155	中郷公民館	IV	1	(2)	1	中郷高齢者学級の開催	高齢者学級を開催し、高齢者の生きがいづくりや健康管理を進めるとともに、自主的な活動を支援します。	高齢者の生きがいづくり仲間作りを推進し、自立を目指します。	女性は、農作業等普段の生活の中では男性と同様の活躍を期待される反面、家事は女性の負担が大きい年代なので、その意識改革に努めます。	「中郷のり学級」を開催、定期的にかかわりを持つ中で、男女共同参画について考える機会を作ります。	新型コロナウイルス感染症の影響で、開催することができませんでした。	—	コロナ禍での開催について、模索していきます。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
156	富来田公民館	IV	1	(2)	1	活き生きクッキングの開催	老後を安心して暮らせるように、料理経験の浅い男性を対象として、基礎的な調理技術を習得し独居に備えて自立できるように支援体制づくりに役立てます。	高齢者男性が独居に備えて自立できることが期待できます。	気軽に料理の基本・調理の参考になり、男性が一人でも参加しやすい内容を講師と調整しながら計画します。	新型コロナウイルスの感染拡大状況を見極めながら、広く男性を対象にして家事の一つでもある料理を学び、家事分担や独居に備えて自立できるように調理実習等を年5回実施し、男女共同参画の意識高揚を図ります。	新型コロナウイルス感染症の影響で、開催することができませんでした。	—	コロナ禍での開催について、模索していきます。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
158	中央公民館	IV	1	(2)	2	中央ふれあい学級の開催	高齢者学級を開催し、高齢者の生きがいづくりや健康管理を進めるとともに、自主的な活動を支援します。	地域における高齢者の学習活動を支援することで、男女関係なく高齢者の社会参加を促進します。	参加者が主体的に学級運営に携わる意識を高めていけるような働きかけをしていきます。さらに、学びを通して高齢者世代に男女共同参画の視点について考え、理解する機会を作り、活動に役立てていきます。	今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から高齢者を対象とした事業は一律で実施を見送ります。	今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、高齢者を対象とした事業の実施を見送りました。	—	今後の感染の状況を見ながら、高齢者の生きがいづくり、社会参画の促進のため、実施内容について十分考慮した上で、実施を検討していきます。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。

【木更津市男女共同参画推進計画（第4次）事業評価表】令和2年度 総合評価（案）

資料3

連番	課名	基本目標	主要課題	施策の方向	具体的施策	事業名	事業内容及び具体的実施目標	男女共同参画の視点からみた効果	元年度実施結果に基づく改善内容	年度別の事業計画（R2）	計画事業の実施状況（R2）	1次評価	1次評価の理由 事業実施上の課題・問題点・改善等	2次評価	2次評価記載事項案	総合評価	改善策等の提言
159	富来田公民館	IV	1	(2)	2	富来田みどり学級の開催	日々めまぐるしく変化する現代社会の中で、高齢者が健康を維持して、生きがいのある生活を送るための講演を行います。	高齢者が人生の生きがいや楽しみを見つけることができ、社会参加を促進します。	高齢者が参加しやすい内容や日程などを役員と調整し高齢者の（男女協働）生きがい、交流の場となる教室づくりを目指します。	新型コロナウイルスの感染拡大状況を見極めながら、健康や高齢者が抱える問題・生きがい等を含めた内容を講師を招き年10回程度開催を予定します。	新型コロナウイルス感染症の影響で、開催することができませんでした。	—	コロナ禍での開催について、模索していきます。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
160	鎌足公民館	IV	1	(2)	2	鎌足桜学級の開催	高齢者を対象に、生き甲斐づくりや健康づくりに関する学習を行う学級を開催します。	高齢化社会といわれる現状を考えながら男女別なく事業を開催することによって、高齢者と言われる方々を通して男女共同参画の意義を広める効果が期待できます。	参加者の希望を踏まえつつ、男女問わず参加できる講座内容を検討していきます。	健康講座など高齢化に伴う課題の内容を含め、月1回程度開催を予定します。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、公民館での高齢者を対象とした事業は一律で実施を見送ることとなりました。	—	コロナ禍での開催について、模索していきます。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
161	金田地域交流センター	IV	1	(2)	2	「かねだ・暮らしの寺子屋」の開催	高齢者の定期的継続的学習の機会として実施し、現代社会に適応し、健康で生きがいを持った生活のための学習の機会とします。また、高齢者の永年培った能力を社会に還元する機会も設けます。	男女を問わず高齢者が意欲を持って学び、社会活動に関わる契機とします。	高齢者に生きがいづくりの場を提供できるよう努めます。男女問わず参加できる講座内容を検討していきます。	「かねだ暮らしの寺子屋」を、事業内容の見直ししながら、全5回の開催を予定します。	「かねだ暮らしの寺子屋」として年間4回実施しました。内容は、健康、消費生活、感染症について、防災などを実施し、参加者は11名でした。	B	コロナ禍の中で、当初の回数を開催することができませんでした。さらに、新しく金田地区にきた人たちの参加も促していく予定です。	A	今後も、内容の充実化とともに、新住民の参加促進に努めること。	A	2次評価を踏まえて取り組むこと。
162	八幡台公民館	IV	1	(2)	1	八幡台かえで学級の開催	高齢者を対象に、生き甲斐づくりや健康づくりに関する学習を行う学級を開催します。	男女を問わず高齢者が意欲を持って学び、社会活動に関わる契機とします。	男女問わず高齢者が学習ができる事業を検討します。	男女問わず高齢者が実施できる内容の事業を1回行います。	高齢者学級としての八幡台かえで学級は実施できませんでしたが、男女問わず高齢者が参加できる事業として「大募集！上島田・八幡台・羽鳥野の好きなところ・よいところ！」という事業を実施することができました。	—	八幡台かえで学級は実施できませんでしたが、コロナ禍でも高齢者が意欲を持って社会活動に関わり、地域に発信する事業を展開することができました。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
163	東清公民館	IV	1	(2)	2	東清さわやか学級の開催	高齢者を対象に、生き甲斐づくりや健康づくりに関する学習を行う学級を開催します。	男女共同参画の視点に立ち、自主的な学級運営と学習活動をするため、高齢者の社会参加を促進します。	高齢者同士の交流と親睦を深め、生きがいと健康づくりの一助となることを目的としつつ、年間的に興味・関心の高いと思われる内容や、世代間の交流の機会になるようなプログラムも取り入れます。	年10回開催（予定）します。	コロナ禍で高齢者を対象とした事業を行わない方針から、幼児家庭教育学級は実施を見送りました。	—	コロナ禍での開催について、模索していきます。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。

【木更津市男女共同参画推進計画（第4次）事業評価表】令和2年度 総合評価（案）

資料3

連番	課名	基本目標	主要課題	施策の方向	具体的施策	事業名	事業内容及び具体的実施目標	男女共同参画の視点からみた効果	元年度実施結果に基づく改善内容	年度別の事業計画（R2）	計画事業の実施状況（R2）	1次評価	1次評価の理由 事業実施上の課題・問題点・改善等	2次評価	2次評価記載事項案	総合評価	改善策等の提言
164	畑沢公民館	IV	1	(2)	2	畑沢むつみ学級の開催	高齢者の定期的継続的学習の機会として実施し、現代社会に適応し、健康で生きがいを持った生活のための学習の機会とします。また、高齢者の永年培った能力を社会に還元する機会も設けます。	男女を問わず高齢者が意欲を持って学び、社会活動に関わる契機とします。	男女互いに力を合わせていく必要性を感じられるプログラムを取り入れる等、内容工夫をすることで、男性の参加を促進していきます。	新型コロナウイルスの感染拡大状況を見極めながら、畑沢むつみ学級の開催を検討します。	新型コロナウイルスの感染拡大状況を見極めながら開催を検討しましたが、高齢者を対象としていることから、感染予防のため開催が中止となりました。	—	コロナ禍での開催について、模索していきます。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
165	岩根西公民館	IV	1	(2)	2	ふれあい学級の開催	高齢者を対象にした学級を開催し、高齢社会の課題について学習を深め、生きがいづくりを図ります。	男女共同参画の視点から、家庭内や地域での男女平等意識を高めます。	「きょういく」をテーマに、「今日・行く」場所が公民館を目標に、高齢者間の親睦を深めるとともに、生きがい対策、心身の健康増進を行っています。班編成を通して役割分担や役員づくりを行い、地域のリーダー作り、相互扶助の関係作りについては、成果が出ています。男女問わず参加できる講座内容を更に充実していきます。	年間10回(月1回)程度の開催を予定します。そのうち2回程度移動教室を実施し、体験学習や健康講座を合わせて実施予定です。仲間づくりと筋力アップに力を入れ、継続的に体力をつける運動を取り入れていくようにします。	新型コロナウイルス感染症の拡大により、活動は中止になりました。担当職員が手紙や電話にて学級生との交流を図りました。	C	新型コロナウイルス感染症終息の見通しがつかないことから、アフターコロナを見据えた事業展開を考えていきます。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
166	西清川公民館	IV	1	(2)	1	西清川福寿学級の開催	高齢者を対象に、生き甲斐づくりや健康づくりに関する学習を行う学級を開催します。	学級の運営等に関わり、性別を越えて男女共同参画の視点をもつことを促進します。	「食生活」「関節痛」をテーマにした講話を中心に、心身に関わる分野について学級生の関心のあることを幅広く学びます。また、昨年度とは違う班編成を行うことにより学級生同士の交流が広がるようにしていきます。	年間8回の講話による学習や、体ほぐしの運動等と2回の移動研修を予定しています。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を見送りました。	—	コロナ禍での開催について、模索していきます。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
167	波岡公民館	IV	1	(2)	2	菜の花教室の開催	豊かで充実した生活を営むために生きがいと健康づくりをめざし、高齢者の学習活動の支援を行います。	男女平等社会の実現に向け地域住民の意識を高め、高齢者の社会参加を促進します。	男女共同参画の趣旨を踏まえ、学習内容に配慮し、新型コロナウイルス感染状況に伴い開催できるかどうか判断のうえ実施をしています。	年間10回(月1回)程度の実施を予定します。	新型コロナウイルス感染状況の収束が見られないとの判断により、高齢者教室については実施を見送りました。	—	高齢者向けの資料配布など、コロナ禍でもできることを模索しつつ実施に繋げていきます。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。

【木更津市男女共同参画推進計画（第4次）事業評価表】令和2年度 総合評価（案）

資料3

連番	課名	基本目標	主要課題	施策の方向	具体的施策	事業名	事業内容及び具体的実施目標	男女共同参画の視点からみた効果	元年度実施結果に基づく改善内容	年度別の事業計画（R2）	計画事業の実施状況（R2）	1次評価	1次評価の理由 事業実施上の課題・問題点・改善等	2次評価	2次評価記載事項案	総合評価	改善策等の提言
170	健康推進課	IV	2	(1)	1	安心して子育てができる施策の推進	妊産婦訪問指導・新生児訪問指導・乳幼児健康診査・健康相談・健康教室等を実施します。	各種事業を通して、安心して子育てができます。	子育て支援課をはじめとした、関係各課と連携し、切れ目ない支援を強化していきます。	感染症状況を踏まえ、にこにこ健康相談、じょうずにモグモグ教室、7か月児教室を実施します。H.P.等を活用して正しい情報を発信し保護者の不安の軽減・解消に繋がります。乳幼児健診は個別健診、集団健診を併用して実施します。必要に応じて、関係機関に繋ぎ切れ目ない支援を実施します。	感染症拡大防止のため、にこにこ健康相談、7か月児教室の開催は見合わせました。じょうずにモグモグ教室は試食の機会があり感染症のまん延リスクを伴うため、今年度から廃止としました。各事業の代替として、教室の内容を包括した資料の送付、電話相談での対応、からだや歯科・口腔・栄養に関する動画や資料等を作成し、市H.P.に掲載するなど新たな方法で健康や子育ての知識普及に努めました。周知方法としては、窓口での案内や教室、健診対象者への案内等に二次元コードを掲載し利用促進を図りました。	B	コロナ禍に対応するため、新たな方法で実施しました。幅広く周知することが重要であるため、今後より良い方法を模索し実践していきます。	B	今後も、さらなる内容の充実にも努めるとともに、感染防止に配慮した開催方法やオンラインサービスの活用など、柔軟な対応を行うこと。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
174	金田地域交流センター	IV	2	(1)	1	金田なかよしクラブの開催	乳児・幼児と親の交流と情報交換・学習の機会として定期的に実施します。少子化の中で孤立化する親への支援体制づくりに役立っています。	少子化の中で孤立化・密室化する子育て環境を改善し、安心して子育てができる地域づくりに役立っています。	参加者の中から役員を選出し、事業内容も吟味しながら計画を立て、今年度も現状維持で実施します。	年間23回(月2回)程度の開催を予定します。なお、参加親子が80組を超えるなど、地域としてのニーズが高いことから、主な地域課題事業として取り組みます。	コロナ禍により、実施を見送りました。	—	ニーズも依然として高いため、コロナ禍での開催について、模索していきます。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
180	危機管理課	IV	3	(1)	1	避難所における男女共同参画の促進	避難所における女性等への配慮等を盛り込んだ避難所運営マニュアルの作成を検討します。	女性に配慮した避難所運営が行われます。	女性の視点からの「気持ち」などを取り入れ、男女共同参画の視点に立った避難所運営マニュアルの作成を実施し、設管理者などに促し、男性女性にも配慮した避難所運営を検討します。	地域の実情と女性への配慮も考慮した避難所運営を行うため、女性を含む公民館や地域住民（自治会、自主防災組織、民生委員、地区社会福祉協議会及びまちづくり協議会等）が一体となった避難所運営マニュアルを作成します。	避難所別の避難所運営マニュアルの作成に向け、各地区の会議等に参加しました。マニュアル作成時に女性に参加していただくとともに、女性に配慮した避難所運営が行われるよう普及啓発をしました。令和2年度は新たに2箇所の避難所運営マニュアルが策定しました。	B	マニュアル作成時に女性に配慮した避難所運営を周知していますが、マニュアル作成に取り掛かれていない地区もあるため、今後についてもマニュアル作成の依頼をするなど、女性に配慮した避難所運営の普及啓発を行う必要があります。	B	今後はマニュアル未作成となっている地域についても作成作業を進めることとし、内容に関する普及や啓発にも努めること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
182	中郷公民館	IV	3	(1)	1	地域課題の解決に向けた事業の実施	少子高齢が顕著な中郷地区において、健康寿命の増進と世代間交流を目的に事業を開催します。	65歳以上の方をもつ性別役割分担の概念を改めるよう働きかけます。	男性が参加しやすい環境整備、継続しやすい雰囲気づくり、講座の中での役割について配慮します。	中郷ウォーキング講座等男性も参加しやすい内容を開催、自ら積極的に学ぶ環境を整えます。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施することができませんでした。	—	コロナ禍での開催について、模索していきます。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
188	職員課	V	1	(1)	1	男女共同参画施策担当部署との連携	施策担当部署と連携した事業（職員研修等）を推進します。	男女共同参画の周知・啓発が図られます。	研修会を実施する目的や意義を明確化し、受講する職員にも理解を得ます。施策担当部署との密な連携を取り事業を継続します。	施策担当部署との密な連携を取り、感染対策を講じた上で、可能な事業を模索します。	令和2年度は、地方創生推進課が主催した男女共同参画フォーラムに職員研修として40名の職員が参加しました。	B	研修の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、人数制限等を行った上で実施できました。	A	今後も、施策担当部署とのさらなる連携体制を構築し、さまざまな媒体を活用した開催方法を検討するなど、柔軟な対応を行い、市職員に対する男女共同参画の周知・啓発を図ること。	A	2次評価を踏まえて取り組むこと。
193	地方創生推進課	V	1	(1)	1	市民の男女共同参画に関する意識調査の実施	市民意識調査を実施する際、男女共同参画に関する事項を盛り込みます。	今後の男女共同参画施策を推進するための基礎資料とします。	市民意識調査等を実施する際に、男女共同参画に関する事項を盛り込むよう、検討します。	市民意識調査や他の調査などの機会を捉えて、男女共同参画に関する調査事項を盛り込むように検討します。	市民意識調査は実施しませんでした。内容について検討し他の調査にあわせて内容を盛り込むことを検討します。	B	市民意識調査は実施しませんでした。内容について検討し他の調査にあわせて内容を盛り込むことを検討します。	B	今後はインターネット調査等も考慮に入れ、さまざまな手法の活用についても検討を行うこと。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。

【木更津市男女共同参画推進計画（第4次）事業評価表】令和2年度 総合評価（案）

資料3

連番	課名	基本目標	主要課題	施策の方向	具体的施策	事業名	事業内容及び具体的実施目標	男女共同参画の視点からみた効果	元年度実施結果に基づく改善内容	年度別の事業計画（R2）	計画事業の実施状況（R2）	1次評価	1次評価の理由 事業実施上の課題・問題点・改善等	2次評価	2次評価記載事項案	総合評価	改善策等の提言
194	地方創生推進課	V	1	(1)	2	市民・団体・企業等との情報交換の充実	男女共同参画推進委員会において、市民、団体、企業（商工会議所）等の代表と情報交換を行います。	市民・団体・企業等との情報交換、及び連携が図れます。	男女共同参画推進委員会と、市民・団体・企業（商工会議所）等との情報交換が行えるように、その実施と内容について検討します。	新型コロナウイルスの感染拡大を見極めながら、男女共同参画推進委員会において、市民・団体・企業（商工会議所）等との関係者と、意見や情報の交換ができる回を設けます。また、実施にあたってはその内容について検討し、充実した意見交換会となるように努めます。	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から男女共同参画推進委員会の開催を見送りました。	—	次年度も実施できるよう努めます。	—	今後は、感染防止に配慮した開催方法やオンライン会議システムの活用など、さまざまな手段を用いることにより開催に努めること。	—	2次評価を踏まえて取り組むこと。
196	地方創生推進課	V	1	(1)	4	男女共同参画に関わる総合的相談窓口の設置	男女共同参画に関わる総合的相談窓口を設置します。	総合的な相談窓口の設置により、一層の男女共同参画への推進となります。	男女共同参画に関わる総合的な相談窓口の設置について検討するため、情報収集に努めます。	相談内容に応じて、専門となる各所管部署がそれぞれ対応している現状を踏まえ、総合的な相談窓口のあり方と必要性について木更津市男女共同参画推進委員会などで検討を行います。	男女共同参画に関わる総合的相談窓口の設置について、バーチャル窓口の可能性等も含めて情報収集に努めました。具体的な設置の検討にまでは至りませんでした。	B	相談内容に応じて各所管部署が窓口となり、必要な対応をしている現状をふまえて、総合的相談窓口の役割について慎重に検討していきます。	B	今後も庁内だけでなく、市外との関係機関とも連携をとりながら、電子的な総合窓口等も視野に入れて情報収集及び検討に努めること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
197	地方創生推進課	V	1	(2)	1	市民への計画の周知と意識の高揚	男女共同参画情報紙（広報ささらづ折り込み）で計画を周知します。	計画を積極的に推進するための理解が深まります。	男女共同参画計画の周知に関する記事の掲載ができるよう、男女共同参画情報紙の紙面の構成を工夫し、掲載に努めます。	男女共同参画情報紙への記事掲載に加えて、情報紙以外の方法による周知に努めます。	紙面の都合により、記事は掲載できませんでしたが、ホームページに男女共同参画計画（第4次）の令和元年度実施結果と令和元年度事業計画を掲載しました。	B	紙面の構成を工夫し、記事の掲載に努めるとともに、情報紙以外の方法による情報提供を検討します。	B	今後も広報紙だけでなく、市公式HPやSNSの効果的活用も含めて情報提供等に努めること。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。